六中だより

～ 自主・勤勉・共生 ～

令和8年11月発行
11月号
港区立六本木中学校

行事が人を育てる

校長　髙松　政則

先日の合唱発表会には、多くの保護者の皆様にご来場いただき、誠にありがとうございました。本番当日、生徒たちは素晴らしい歌声を披露してくれました。しかし、その姿は最初からできあがっていたものではありません。練習が始まった頃は、声が十分に出なかったり、出だしがそろわなかったりする場面も見られました。思うようにいかないことへの戸惑いや、互いの考え方の違いから生まれる葛藤もあったことでしょう。それでも、生徒たちは練習を重ねる中で少しずつ改善を図り、自分たちの課題と向き合いながら歩みを進めていきました。

行事には不思議な力があります。普段の教室ではなかなか見ることのできない友達のよさに気付いたり、自分の役割や責任について考えたりする機会が生まれます。合唱練習の過程では、意見がぶつかったり、思うようにいかなかったりすることもあります。しかし、それらを乗り越えながら互いを理解し、一つの目標に向かって力を合わせる経験は、教科の授業だけでは得ることのできない大切な学びです。

合唱発表会後の振り返りには、「練習を重ねることでどんどん上達した」「先輩方の声の響きや強弱の付け方を来年の参考にしたい」「上級生はただ上手なだけでなく、歌詞の意味を踏まえた歌い方をしていた」「指揮者や伴奏者の努力に感動した」など、多くの前向きな感想が寄せられました。合唱発表会で完成した歌声は、その日だけの成果ではありません。一か月近い練習の中で育まれた仲間との信頼関係や、一人一人の努力、そして「よりよいものを創り上げたい」という思いの積み重ねが形となったものです。だからこそ、歌い終えた後の生徒たちの表情には達成感があり、会場全体に温かな空気が広がっていたのだと思います。

また、今年も保護者有志の皆様による合唱も披露していただきました。美しい歌声に生徒たちから大きな拍手が送られ、多くの生徒が印象に残ったと感想に記していました。学校と家庭がともに学校行事を創り上げていく温かな姿を見ることができ、大変うれしく思います。ご協力いただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

行事は、初めからうまくいくものではありません。様々な思いをもった一人一人が、時には悩み、迷いながらも同じ目標に向かって力を合わせることで、やがて大きな成果へと結び付いていきます。その過程こそが行事の大きな価値であり、生徒たちは合唱発表会を通して、互いを理解し、認め合いながら一つになることの大切さを学んだのではないでしょうか。

そして、このような経験の積み重ねが、クラスのまとまりとなり、学年のまとまりとなり、さらには学校全体の一体感につながっていきます。今後も様々な教育活動を通して、生徒たちの成長を支えてまいります。

さて、11 月 23 日は「勤労感謝の日」です。この日は、働くことの大切さや、私たちの生活を支えてくださっている方々への感謝の気持ちについて考える日です。今回の合唱発表会を振り返ってみても、本番で活躍した生徒たちの姿の陰には、多くの努力がありました。指揮者や伴奏者は自分の練習だけでなく、クラス全体を支える役割を担いました。また、実行委員や係生徒、教職員、そして当日を支えてくださった保護者の皆様など、多くの人の力によって行事は成り立っています。学校生活も同じです。私たちが安心して学び、生活することができるのは、家庭や地域の方々をはじめ、多くの人々が支えてくださっているからです。普段は当たり前に感じていることも、決して当たり前ではありません。

「ありがとう」という言葉は短い言葉ですが、その一言が人と人とのつながりを温かくし、新たな力を生み出します。勤労感謝の日を機に、生徒たちが身近な人々の支えにあらためて目を向け、感謝の気持ちを言葉や行動で表してくれることを願っています。

合唱発表会の感想 スローガン『Beautiful harmony♫ 弾歌合歩 一音入魂 天歌夢奏』

☆第１学年 生徒

始めは、強弱をあまり意識せず、心がこもっていない人が多かったですが、どんどん練習をしていくと、先生に言われて目標を決めるのではなく、一人一人が自分たちで目標を決め合っていくようになりました。そして、気持ちも高まり、本番までに仕上げられてよかったなと思いました。本番には、緊張で速くなってしまうなどあったけど、それでもみんなが頑張って歌えたのでよい合唱発表会にできたなと、パートリーダーの自分としてはそう思えたし、楽しかったです。

☆第２学年 生徒

放課後練習や学年練習をして、合唱発表会に向けて準備を進めてきた２週間。過ぎてしまえばあっという間の時間だった。各パートで決めた課題を練習して最後に全員で合わせたり、入退場や一連の流れを確認したりした。最初は正しいリズムで歌えていない部分があったり、曲の間に話してしまったりとうまくいかない事もたくさんあった。それでも、パートリーダーや実行委員の声かけやアドバイスによって、みんなの中に団結力が生まれ、歌のクオリティも高まり、本番では全員が心を一つにしてきれいなハーモニーを奏でることができたと思う。

☆第３学年 生徒

中学校最後の集団の行事ということで、特別なものがありました。３年続けた実行委員も今年は委員長となり、さまざまな場面で表に立つことが増えましたが、自分なりに精一杯頑張りました。パトリ合唱は１年生でも歌った「証」、さらに３年間で初の指揮者という、なつかしいやら、緊張するやらで心が忙しかったです。学年合唱はところどころで速くなってしまったのですが、強弱の良くきいたとてもよい合唱になりました。午前の部では賀屋先生を感動させるまでにはいかなかったので、是非とも午後の部では先生方の心を動かせる合唱にしたいと思います。３年間、私たちを支えてくれた賀屋先生に少しでも報いることができるといいなと思います。

☆Ｓ組　１学年生徒

３組のみんなと練習をしました。本番では少し歌詞を間違えちゃったけど、ちゃんとできたので良かったです。元気に歌うこともできました。午後は、お母さんが聞きに来てくれました。うれしかったです。

☆Ｓ組　２学年生徒

僕が一番印象に残っている曲は「ほらね」です。この曲は強弱を意識するところが多く、とても大変でしたが、頑張って歌うことができました。「この地球のどこかで」では、細かいところを間違えてしまいましたが、最後まで歌うことができました。他の曲も通常級の皆さんと一緒に精一杯がんばることができました。

☆Ｓ組　３学年生徒

とても難しい曲がたくさんありました。特に一番難しかった曲は「親知らず子知らず」です。理由は歌詞の内容がとても難しいからです。だから、家で何回も練習して歌えるようになりました。「HEIWA の鐘」のサビのところも頑張りました。本番ではしっかり歌えることができてよかったです。

港区立小中学校 特別支援学級合同運動会



10 月 9 日（金）に港区立小中学校特別支援学級合同運動会が開催されました。Ｓ組の生徒も参加し、これまでの練習の成果をしっかりと発揮することができました。競技に取り組む姿からは、一人ひとりのやる気や真剣さ、そして運動会を楽しむ気持ちが伝わってきました。

笑顔や集中した表情が印象的で、心温まる素敵な運動会となりました。

港区総合地域防災訓練（麻布会場）



10 月 25 日（日）に港区総合防災訓練（麻布会場）が実施され、本校生徒がボランティアとして参加しました。生徒たちはそれぞれの役割に責任をもち、気持ちよく、積極的に取り組んでいました。地域の防災力を支える一員として、実際の訓練に関わることで、多くの学びと貴重な経験を得ることができました。参加した生徒の皆さん、お疲れさまでした。（そしてありがとう！）

１２月の主な行事

※詳細は毎月配布される行事予定でご確認ください。

- ３日（木）～１０日（木）三者面談【全学年】
- ４日（金）音楽鑑賞教室【Ｓ組】
- １４日（月）マイスクール PR コンペティション
- １５日（火）私立高校入試相談
- ２２日（火）給食終　美化活動
- ２３日（水）終業式

